

「令和7年度鳥獣被害対策に係る生活環境被害防止モデル事業」
公募型プロポーザルの質問書に対する回答

質問事項	内容	回答
仕様書	「②モデル地区住民との協議を踏まえた効果的な対策の実施支援及び実証試験」の「○住民による捕獲・環境整備・被害防除等の対策の実行支援」について ●「外部専門家を交えての対策の評価を行い」とあるが、招聘する外部専門家に対する謝金や交通費等の規定はありますか。	受託事業者の規定に従って支給をお願いいたします。
仕様書	「②モデル地区住民との協議を踏まえた効果的な対策の実施支援及び実証試験」の「○事業者自らの加害鳥獣生息状況把握及び被害対策実証試験」について ●「実証試験の案」として実証事業が提示されていますが、住民の要望、現場の状況に応じてより効果の高い実証事業がある場合は、案の内容を変更するような提案をしても良いでしょうか。	仕様書の記載はあくまで案ですので、記載の他により有効な実証事業がある場合は、提案に含めていただいて差し支えありません。
	●「実証試験の案」として複数の事業案が提示されていますが、その後に「令和6年度事業実績を踏まえ、以下の内容を反映させた「事業者自らの加害鳥獣生息状況把握及び被害対策実証試験」を行うこと」として、改めて実証事業内容が提示されています。この両者に明確な区別を想定しているでしょうか。もしくは「実証事業」として両者を区別せず鳥獣被害対策の方法論確立のために必要な実証事業を提案すれば良いでしょうか。	前段は記載の案を参考として、今年度実施する実証試験の内容を提案することとしており、後段は令和6年度に実施した内容を踏まえて今年度事業の中で実施していただきたい内容を記載しております。

仕様書	「⑤他地域への情報展開に関する検討・資料の作成」の「○ 情報展開用資料の作成」について 「・事前調査等により他地域への展開方法について整理し、資料の作成を行うこと。」とあります。 ●優先的に情報展開すべき地域を具体的に選定もしくは提案することを想定していますか。	事前調査等の中で、優先的に情報展開すべき地域を具体的に選定することを想定しています。
	●他地域への展開方法の事前調査について、例えば、候補地の市町村担当者や住民へのヒアリング、加害鳥獣の生息状況の事前調査（カメラ設置等）の現地に入っの調査を想定していますか。	事前調査の方法については、事業者が提案してください。
仕様書	「⑤他地域への情報展開に関する検討・資料の作成」の「○ 事業成果公表用資料(一般向け)の作成」について ●資料の作成は 2025 年 10 月、2026 年 3 月という認識で良いでしょうか。	お見込みのとおりです。
	●この資料は一般県民が見て同様の対策を実施したいと思う資料を想定しているでしょうか。もしくは、行政担当者が対策について住民に説明するときに見せる資料を想定していますか。	前者を想定しております。本事業における取組内容及び効果が一般の方に伝わるような内容、構成を提案してください。